

## 学術集会長挨拶

---

東京女子医科大学看護学部・大学院看護学研究科

長江 弘子

このたび、日本エンドオブライフケア学会第2回学術集会を2018年9月15日（土）・16日（日）の両日、一橋大学一橋講堂（神保町）で開催させていただくことになりました。

本学術集会のメインテーマは「エンドオブライフにむけてすべての人の意思表明を支えあうケア」としました。エンドオブライフケアとはすべての人々が一人の人間として「いのちをどう支えるのか」あるいは「自分らしく（その人らしく）生きるとは何か」、本当の「豊かさ」は何か、人間本来の存在の意味を問い誰にでも訪れる「いのちの終わり」にどう向き合うかを問うことです。その意味で、エンドオブライフケアは医療の中だけではなく、国民一人一人がそれぞれの立場で身近な人の生と死にかかわり「生老病死」に向き合うこと支え、支えられる社会の中にこそ必要なケアの心であると考えます。

老いや病いを抱えながら地域社会で生活し続ける人々の暮らしのあり様、家族との関係性や生や死に関する価値観、社会規範や文化との関連した、来る長寿社会における新たな生き方の探求の在り方として、エンドオブライフケアの重要性が高まっています。エンドオブライフケアの実現には、その人がどう生きたいかを知ることから始まり、「どう生きたいか」について語る事が大切です。ですが「どう生きたいか」を語ることは簡単なことではなく非日常的な何かきっかけがないと意識しないことかもしれません。だからこそ、「いつかは来る死」について考え、語り合うことをとおして「どう生きたいか」を意識化し理解しあう「意思表明のプロセス」が重要なのだと考えています。

そこで本学術集会のプログラムは、教育講演やシンポジウム、一般口演、示説のほか、参加者同士が語り合う場として交流集会、カフェ、リレー講演とラウンドテーブルディスカッションを企画しました。参加者が一堂に会し時間と場を共にし、参加者一人一人が自分のエンドオブライフについて考え、さらには大切な人のエンドオブライフを支えることについて語り合うことをとおして「生きるを考える」機会になればと願っております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 大会概要

---

学術集会の名称 日本エンドオブライフケア学会第2回学術集会  
公式ホームページ:[http://endoflifecare.jp/conference/conf\\_2018/](http://endoflifecare.jp/conference/conf_2018/)

開催時期 2018年9月15日(土)～9月16日(日)

開催場所 一橋大学 一橋講堂(学術総合センター)  
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号  
Tel: 03-4212-2000(代表)

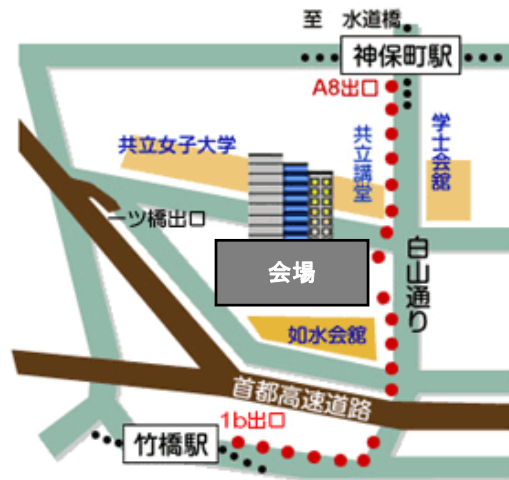
主催 一般社団法人 日本エンドオブライフケア学会

学術集会長 長江 弘子  
(東京女子医科大学看護学部・大学院看護学研究科)

テーマ エンドオブライフにむけてすべての人の意思表明を支えあうケア

共催 公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団

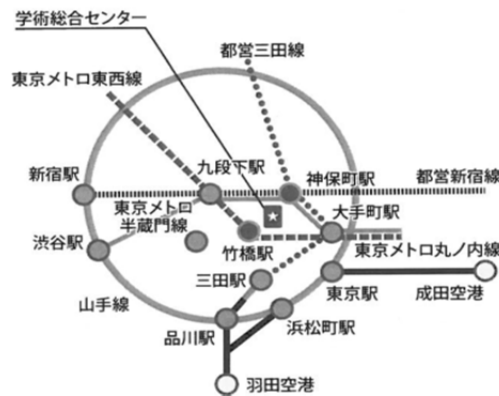
## 会場への交通案内



一橋講堂(学術総合センター)

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

## 各路線図詳細



### ■東京駅からの主なアクセス

「神保町駅」 A8 出口 徒歩 3 分

東京(丸の内線・池袋方面)→大手町(半蔵門・中央林間方面)→神保町(10分)

「竹橋駅」1B 出口から徒歩 4 分

東京(丸の内線地下中央口より地下道直結)→大手町(東西線・中野方面)→竹橋(10分)

### ■羽田空港からの主なアクセス

「神保町駅」 A8 出口 徒歩 3 分

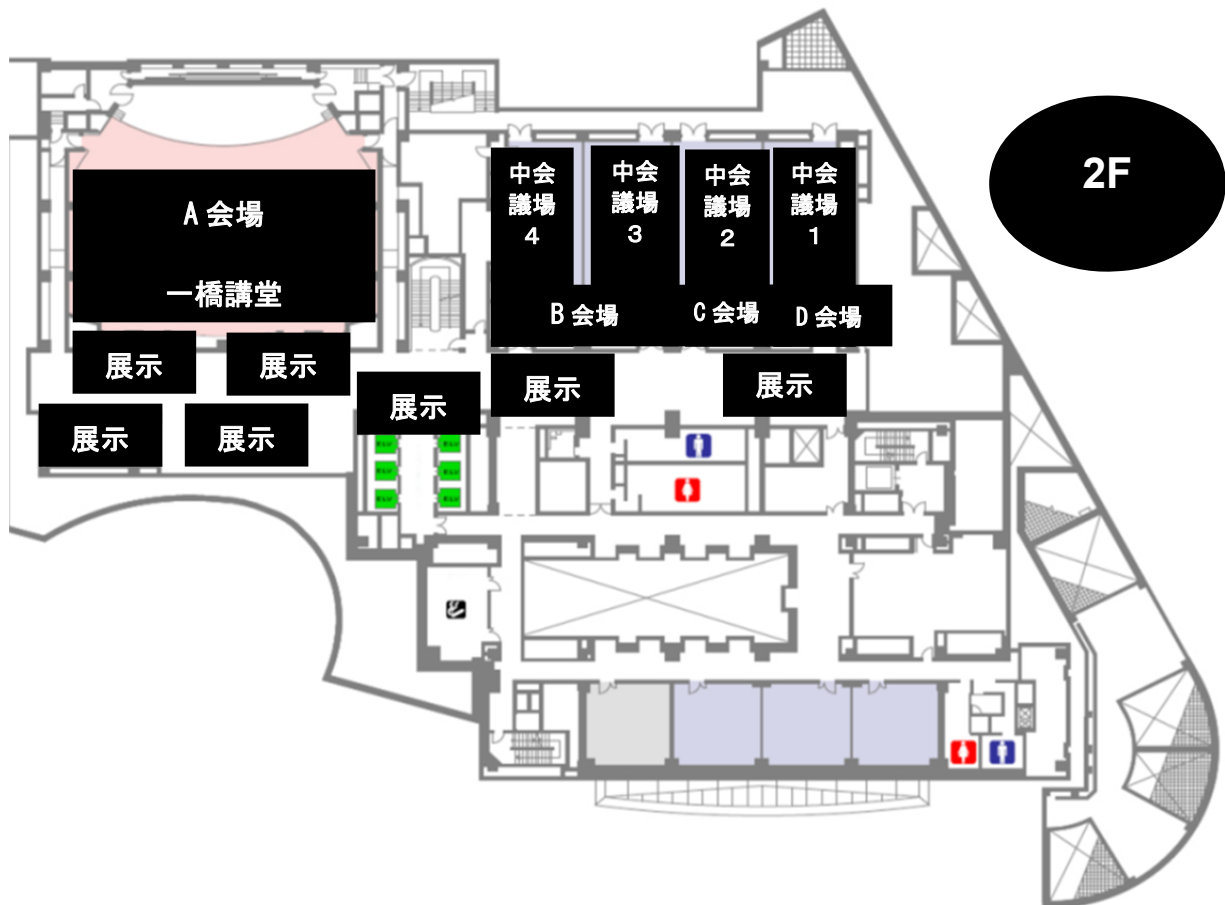
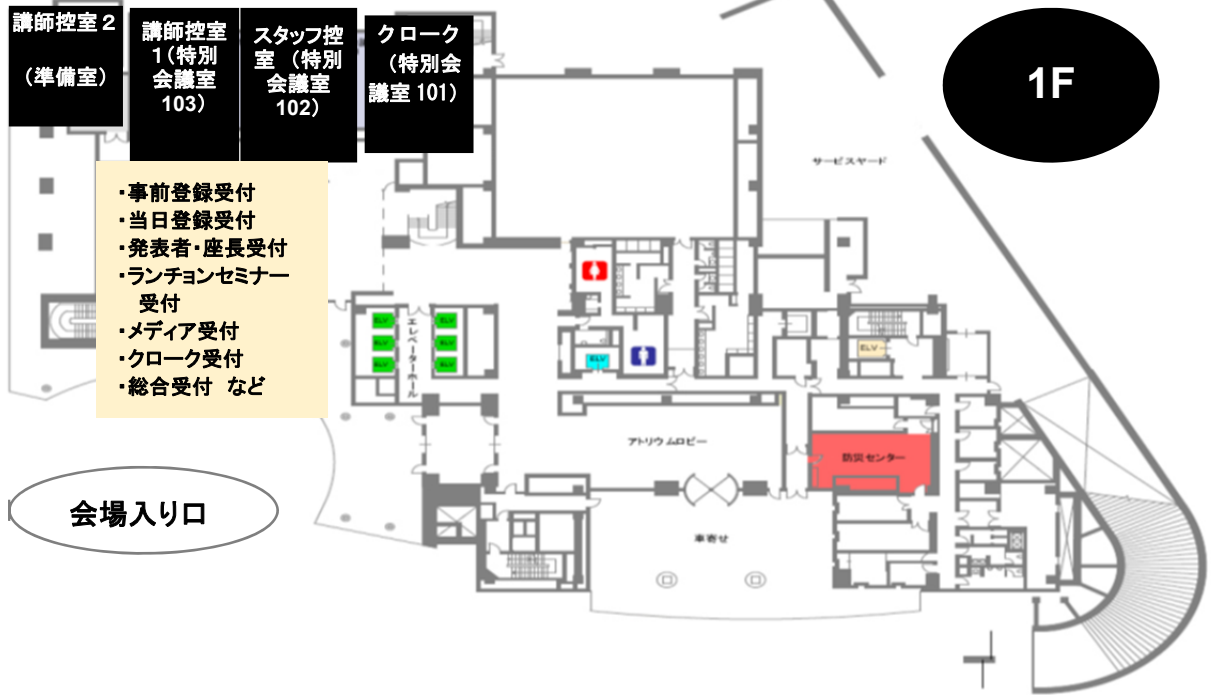
羽田空港(京浜急行・品川方面)→泉岳寺(都営浅草線・押上方面)→三田(都営浅草線・西高島平方面)→神保町(50分)

### ■車でのアクセス

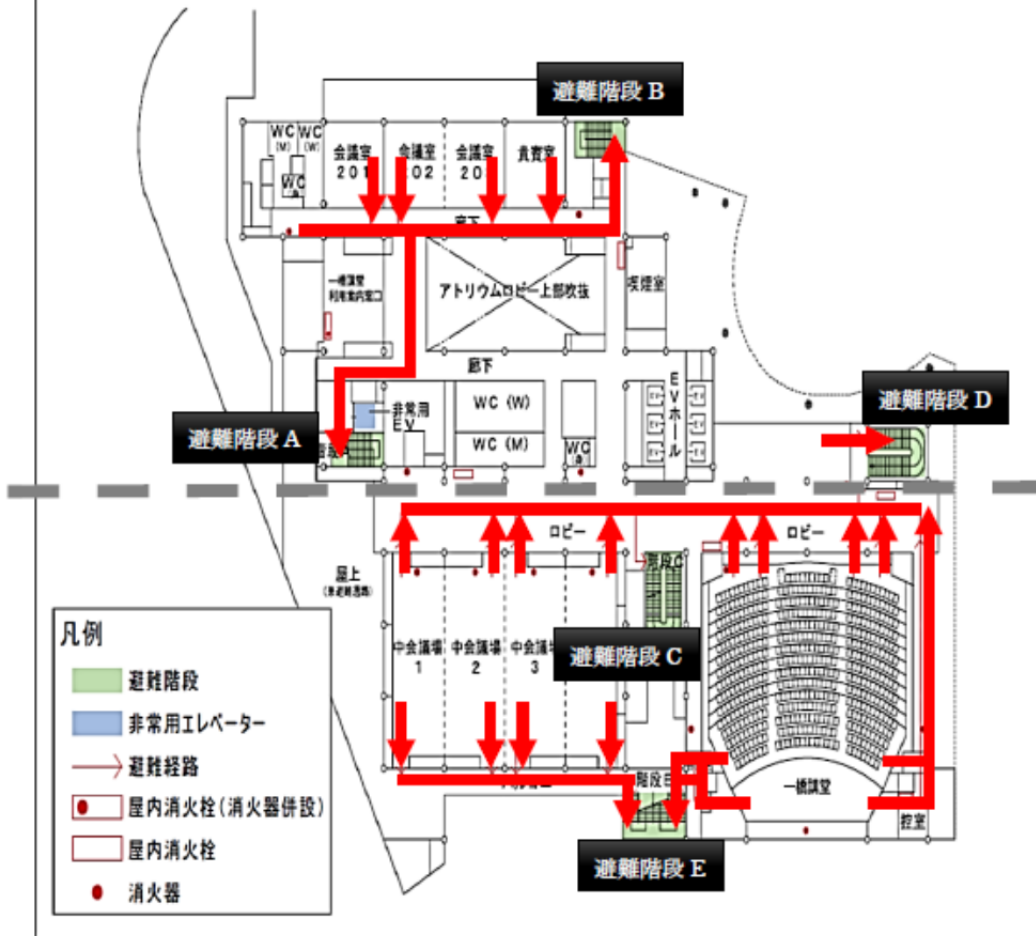
箱崎方面から 神田橋出口 八重洲線利用 北の丸出口

北池袋方面から 一ツ橋出口

# 会場案内図



## 2階避難経路図・消火設備等配置図



※ ■■■■■ 防災シャッター

## 参加される方へのご案内

---

### 1. 受付:一橋大学 一橋講堂(学術総合センター) 1F

受付時間:9月15日(土) 9:00~16:00  
9月16日(日) 9:00~15:00

#### 1)事前登録の方

7月31日(火)までに申し込み、8月9日(木)までに参加費納入の方

事前登録	参加費用
正会員	8,000円
学生会員	4,000円
非会員	10,000円

- ・事前登録受付にて確認を行い、参加証(ネームカード)と抄録集をお渡しいたします。
- ・受付を必ずお済ませください。

#### 2)当日登録の方

・当日登録受付で学術集会参加費をお支払いください。

当日登録	参加費用
正会員	10,000円
学生会員	5,000円
非会員	12,000円

- ・参加費と引き換えに、参加証(ネームカード)と抄録集をお受け取りください。
- ・支払いは、現金のみ承ります。
- ・賛助会員は、1口当たり3名まで、5口以上は20名まで参加無料です。名刺をお持ちの上、総合受付までお越しください。

#### 3)参加証(ネームカード)について

- ・会場にご入場の際には、必ず参加証を着用してください。
- ・参加証用ホルダーをご用意していますので、首からさげてご使用ください。

### 2. ワークショップ・セミナー(委員会企画)について

- ・参加者は、事前参加登録受付もしくは当日参加登録受付にて手続きをされた後、2FのA会場(一橋講堂)およびB会場(中会議場3・4)に開始5分前までにお越しください。
- ・開場は9:00です。
- ・入り口に案内板をご用意しております。会場をお間違えのないようにお入りください。

### 3. ランチョンセミナー

15日(土)、16日(日)当日9:00よりランチョンセミナー受付で整理券をお渡しいたします。人数に限りがございますため、整理券を受け取れない場合は昼食のご提供ができないことをご了承ください。なお、整理券がなくても聴講は可能です。

#### 4. 交流集会について

交流集会の受付はございません。座席数に限りがありますので参加を希望される方は、お早めに会場へお越しください。

#### 5. 懇親会に参加される方へ

・9月15日(土)17:40～19:00に「B会場(中会議場3・4)」で開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしています。

##### 1) 事前に参加申し込みをされている方

・直接懇親会会場へお越しください。

##### 2) 当日参加をご希望の方

・1Fの当日登録受付にてお申し込みください。

・懇親会費4,000円をお支払いください。

・定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

・お申し込み後、キャンセルされる場合でも懇親会費はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。

#### 6. 抄録集

・日本エンドオブライフ学会第2回学術集会では、抄録集を当日受付にてお渡しいたします。

・抄録集の追加購入をご希望の方は当日登録受付にて1冊1,000円にて販売致します。ご希望の方は申込書にご記入の上お申し込みください。数に限りがございます。お早めにお買い求めください。

#### 7. 企業・書籍展示について

9月15日(土)10:00～17:00、9月16日(日)9:30～16:00に2F廊下およびロビーにて実施します。是非、お立ち寄りください。

#### 8. その他

##### 1) 発表会場および館内のご利用に当たって

・発表者の承諾を得ずに、発表に関わる撮影・録音を行う事は、禁止させていただきます。

・会場は全館禁煙ですので、ご協力をお願いいたします。

・会場内の一部施設は、一般市民も利用しますので本学術集会の会場以外への入場はお控えください。なお、会場の通路などの共有部分をご利用される際には周囲へのご配慮をお願いいたします。

・会場内では携帯電話はマナーモードに設定し、周りの方のご迷惑とならないようにご配慮ください。

・A会場(一橋講堂)は終日飲食禁止となっております。飲食の際は15日(土)にC・D会場(中会議室1・2)にて休憩コーナーを設置しておりますので、ご利用ください。

##### 2) 休憩コーナーについて

・2Fのロビーに休憩コーナーを設置しております。ご自由にご利用ください。ロビーは飲み物利用が可能です。

##### 3) お荷物預かり所(クローク)

・クロークは1Fに設置しております。ご利用ください。

・開設時間: 9月15日(土) 9:00～17:30

9月16日(日) 9:00～16:30

- ・手荷物類をお預かりいたします。お荷物はできるだけまとめていただきますようにご協力をお願いいたします。
- ・貴重品・パソコン・傘・壊れ物・食品はお預かりできませんのでご承知ください。
- ・懇親会に参加される方は、手荷物などをお引取り頂いてからご参加ください。

#### 4)会場内での呼び出し

- ・会場内での呼び出しは行いませんが 1F の受付付近に伝言板を設置いたしますのでご利用ください。
- ・会場内にはスタッフ証をつけたスタッフがおりますので、お困りの際にはお声かけください。

#### 5)災害発生時の非難

- ・災害発生時には各会場の避難アナウンスに従ってください。
- ・会場内では非常口や避難経路をご確認ください。
- ・避難時にエレベーターは使用しないでください。

#### 6)救護室について

- ・必要時には受付スタッフにお申し出ください。

### **学会総会・市民公開講座へ参加される方へ**

#### 1. 学会総会

- ・9月16日(日)13:25～13:55にA会場(一橋講堂)にて開催いたします。

#### 2. 市民公開講座

- ・9月16日(日)10:30～12:00にB会場(中会議場3・4)にて開催いたします。
- ・市民対象のプログラムですが、会場内の席に余裕がある場合は、専門職の皆様も聴講することができます。

### **各講演・シンポジウムの講師・シンポジスト及び座長の方へ**

- ・特別講演、教育講演、シンポジウムの講師・シンポジストおよび座長の方は **1F 受付の「講師・シンポジスト、座長受付」**に各プログラムの開始1時間前までにお越しください。
- ・演者の方は受付が済みましたら係のスタッフが **1F の講師控え室**にご案内いたします。
- ・打合せが必要な場合は、**1F の講師控え室**および**スタッフ控え室**をご利用ください。
- ・講演中のPC画面操作は、発表者ご自身による手元操作になります。
- ・各セッションの進行は、座長にお任せいたします。詳細は必要に応じて演者と打合せの上、時間内に終了するよう進行をお願いいたします。
- ・開始10分前には会場内の次演者席または次座長席に、ご着席ください。



## 発表者および座長の方へ

### 【口演形式で発表される方】

#### 1. 発表者

- ・発表者は、1Fの事前登録受付で参加証・抄録集を受け取ったあと、下表の時間帯までにメディア受付で発表演題受付を済ませ、セッションの開始時間の10分前には次演者席にご着席ください。
- ・発表は、1演題 10分（口演 7分、質疑応答 3分）です。
- ・舞台上のマウスを各自で操作し発表を行ってください。口演終了1分前には合図を致します。終了時間になりましたら座長からお知らせしますので設定時間内に終了させてください。
- ・会場での資料配布はできません。
- ・発表者は座長の進行指示に従ってください。

#### 2. 発表メディア受付

- ・発表データをメディア受付にお持ちいただき、受付をお済ませください。受付場所は1Fのメディア受付で行います。受付日時は以下の通りです。

発表日	セッション名	会場	発表時間	メディア受付時間
9月15日(土)	口演Ⅰ群	中会議場 3・4	13:15~14:15	9/15(土) 9:00~12:15
	口演Ⅱ群	中会議場 3・4	14:25~15:25	9/15(土) 9:00~13:25
9月16日(日)	口演Ⅲ群	中会議場 1・2	14:10~15:10	9/16(日) 9:00~13:10*
	口演Ⅳ群	中会議場 3・4		

※16日(日)発表者の皆様は、前日(15日 9:00~13:25)も受付可能ですので、早めにメディア受付を済ませていただきますことをお勧めいたします。

- ・受付可能なメディアはUSBフラッシュメモリーのみです。その他のメディアは受付できません(念のため各自バックアップのお持ちをお勧めいたします)。
- ・発表用データは本学術集会で用意したPCにコピー致します。ご持参いただいたメディアはその場で返却いたします。一度受け付け致しましたデータの修正は一切できません。
- ・メディア受付にてコピーしたデータは、本学術集会終了後に学術集会実行委員長の責任の下、消去致します。

#### 3. データの作成・保存

- ・事務局で用意するPCは『Windows7』で『PowerPoint2010/2013』のみです。また、発表データ作成の際にはWindows標準フォント(MS明朝、MS P明朝、MSゴシック、MS Pゴシックなど)をご使用ください。これ以外のフォントをご使用の場合には、正常に表示できない場合があります。
- ・作成されたファイル名は『演題番号-名字(半角ローマ字)』とし、全て半角で保存してください。例)『A1-1-endo』
- ・運営上、動画、音声など、特別なデータの作成はご遠慮ください。
- ・発表データは、持ち込まれたファイル単体で動くようにし、外部ファイルとのリンクははずしてください。
- ・発表前に、必ずメディア受付で動作確認をしてください。

**【座長の方へ】**

- ・ご担当群の開始時刻 30 分前までに 1F 受付の「座長受付」で受付をしてください。
- ・ご担当群の発表開始時刻 10 分前までに次座長席に、ご着席ください。
- ・1 演題 10 分（口演 7 分、質疑応答 3 分）です。
- ・各セッションの進行は座長の方にお任せします。時間内に終了するよう進行をお願いいたします。

**【示説形式で発表される方】**

**1. 示説発表受付**

示説発表者の受付はございません。直接ポスター会場（2F 中会議場 1・2）へお越しください。

**2. ポスターの貼付・撤去時間**

ポスターの貼付・撤去時間は以下の通りです。

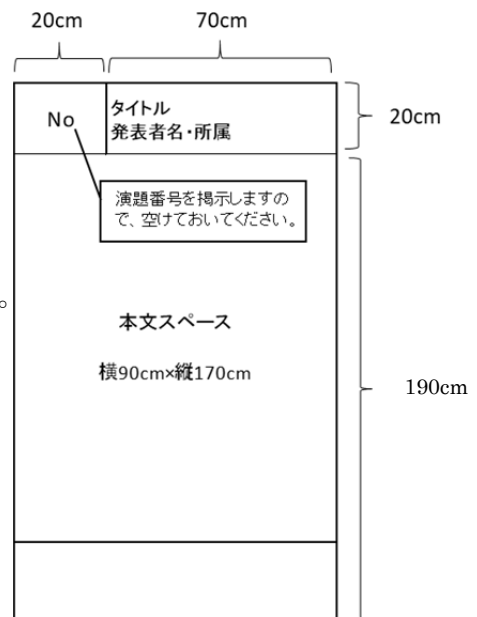
9 月 15 日

貼付時間：10：00 まで

撤去時間：16：00～17：00

**3. ポスターの掲示スペースおよび掲示方法**

- ・ポスターの掲示スペースは幅 90cm×210cm です。ポスターは幅 90cm×170cm 以内に貼付してください。
- ・演題名、発表者名（共同研究者含む）所属機関名は本文の上端に幅 70cm×20cm のサイズ内で貼付してください。
- ・演題番号をご用意します。
- ・ポスター掲示に必要な物品は学術集会でご用意させていただきます。



**4. 発表**

- ・発表者は各群の発表時間には発表ポスターの前で待機し、質疑などにお答えください。
- ・発表は座長の進行により行われます。1 演題 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）です。
- ・指示棒が必要な方は各自ご用意ください。

発表日	セッション名	発表時間
9 月 15 日(土)	示説 I 群 示説 II 群 示説 III 群	10：00～11：00
	示説 IV 群 示説 V 群 示説 VI 群	15：00～16：00

**5. 展示パネル下の貼付物品（画鋲）をお使いいただき、ご自分で貼付してください。**

なお、貼付できない場合には、近くのスタッフにお声をお掛けください。

**6. 原則として、ポスター撤去時間にポスターの撤去をお願いします。**

時間が過ぎても撤去されないポスターは企画実行委員会で処分させていただきます。

## 交流集会主催者の方へ

- ・ 交流集会の受付はございません。直接会場へお越しください。
- ・ 開場は開始時刻の 30 分前からとなります。参加者の退室および仕様変更の復元、撤去を時間内に終了するようにお願いいたします。開始時刻、終了時刻を厳守してください。
- ・ 交流集会は自主運営です。会場には PC1 台、プロジェクター1 台、スクリーン、マイクをご用意させていただきますが、その他の必要な資材・機材は各自でご準備ください。

# 日程表

## 9月15日(土) 第1日目

	A会場 (一橋講堂)	B会場 (中会議場3・4)	C会場 (中会議場2)	D会場 (中会議場1)
9:00	9:00- 開場 受付開始			
	9:30-9:35 開会の挨拶			
9:35-11:35	<b>【委員会企画】</b> EOLを担う専門職を支える委員会セミナー  1) ALSの緩和ケア ～どのように最期を迎えるか～ 講師：荻野美恵子 (国際医療福祉大学) 2) エンドオブライフに必要な看護とケア 講師：内田陽子 (群馬大学大学院)  座長： 大木正隆 (東京工科大学) 梶井文子 (東京慈恵会医科大学)	9:35-10:55 <b>【委員会企画】</b> 意思表示プロセス委員会セミナー  自分に立ち戻り、自分の人生で何が大切かを考えられる場所 講師： 岩城典子 (認定NPO法人 マギーズ東京) 海津未希子 (慶應義塾大学大学院博士課程)		
10:00			10:00-11:00 <b>【示説発表】</b> 示説Ⅰ群：看取り・緩和ケア 座長：乗越千枝 (日本赤十字九州国際看護大学) 示説Ⅱ群：実践・家族ケア 座長：福田由紀子 (人間環境大学) 示説Ⅲ群：多職種連携 座長：山本純子 (人間環境大学)	
11:00		11:10-12:10 <b>【ランチョンセミナー①】</b> Lifeを考えた心不全医療 主催：大塚製薬株式会社 講師：弓野大 (医療法人社団ゆみの) 座長：彦聖美 (金城大学)		
12:00	12:15-13:05 <b>【会長講演】</b> 自分の生き方を語り伝え分かち合うケアとしての意思表示支援 演者：長江弘子 (東京女子医科大学) 座長：西川満則 (国立長寿医療研究センター)			
13:00		13:15-14:15 <b>【口演発表：Ⅰ群】</b> 高齢者・認知症ケアにおけるACP 座長：葉袋淳子 (岐阜医療科学大学)		
14:00	14:05-14:45 <b>【特別講演2】</b> 地域におけるACPの実践 講師：西川満則 (国立長寿医療研究センター) 座長：鶴若麻理 (聖路加国際大学)	14:25-15:25 <b>【口演発表：Ⅱ群】</b> EOLケアにおける実態・認識 座長：酒井昌子 (聖隷クリストファー大学)		
15:00	14:55-16:45 <b>【シンポジウム1】</b> 生活の場から発信するACP  シンポジスト： 樋口範雄 (武蔵野大学) 関谷昇 (千葉大学) 田村恵子 (京都大学大学院) 座長： 平原佐斗司 (梶原診療所在宅総合ケアセンター) 坂井志麻 (東京女子医科大学)		15:00-16:00 <b>【示説発表】</b> 示説Ⅳ群：地域・高齢者ケア 座長：梶井文子 (東京慈恵会医科大学) 示説Ⅴ群：地域・在宅ケア 座長：彦聖美 (金城大学) 示説Ⅵ群：地域・緩和ケア 座長：秋山正子 (武庫川女子大学)	
16:00				
17:00	16:55-17:25 <b>【音楽と映像のシンフォニー】</b> 演奏：高橋在也、渡邊賢治、君塚伶			
18:00		17:40-19:00 <b>懇親会</b>		

9月16日(日) 第2日目

	A会場 (一橋講堂)	B会場 (中会議場 3・4)	C会場 (中会議場 2)	D会場 (中会議場 1)
9:00	9:00- 開場 受付開始			
	9:30-9:35 オリエンテーション		9:30-10:40 【交流集会Ⅱ】 「もしもの時」にどう対応するか	9:30-10:40 【交流集会Ⅰ】 日本語版オマハシステムの地域看護過程を学ぶ基礎教育への活用 酒井昌子 (聖隷クリストファー大学)
10:00	9:35-10:15 【特別講演3】 私らしく生きるための心がまえと覚悟 講師：志藤洋子 (日本在宅ケアアライアンス) 座長：浅見洋 (石川県立看護大学)		山崎千草 (東京女子医科大学大学院博士課程)	
	10:25-11:05 【教育講演1】 心不全における意思表示支援 講師：高田弥寿子 (国立循環器病研究センター) 座長：伊藤真理 (岡山大学病院)	10:30-12:00 【委員会企画】 市民と専門職が協働するための実践・教育・研究委員会  市民公開講座 エンドオブライフと看取りについての対話	10:50-11:50 【交流集会Ⅳ】 看護系大学におけるエンドオブライフケア教育の検討 長坂育代 (千葉大学大学院)	10:50-11:50 【交流集会Ⅲ】 「もしバナゲームTM」体験コーナー  大川薫 (亀田総合病院)
11:00	11:15-11:55 【教育講演2】 慢性的な疾患における意思表示支援をどうすすめるか 講師：荻野美恵子 (国際医療福祉大学) 座長：村岡宏子 (順天堂大学)	プロデュース： 孫大輔 (東京大学大学院) 高橋在也 (千葉大学大学院)		
12:00	12:05-13:20 (DVD上映)			
13:00	13:25-13:55 総会	12:20-13:20 【ランチョンセミナー②】 緩和ケアとしてのBPSDへのアプローチの実際 主催：エーザイ株式会社 講師：平原佐斗司 (梶原診療所在宅総合ケアセンター) 座長：内田陽子 (群馬大学大学院)	12:20-13:20 【ランチョンセミナー③】 重度認知症の方への口腔ケアと食の支援 主催：イーエヌ大塚製薬株式会社 講師：枝広あや子 (東京都健康長寿医療センター研究所) 座長：島田千穂 (東京都健康長寿医療センター研究所)	
14:00	14:00-16:00 【シンポジウム2】 元気なときからかかわるACPの実践  シンポジスト： 大川薫 (亀田総合病院) 野々木宏 (静岡県立総合病院) 手嶋無限 (日本在宅薬学会副理事長) 清水直美 (千葉市あんしんケアセンター磯辺) 小野克美 (岡山市地域包括支援センター) 座長： 島田千穂 (東京都健康長寿医療センター研究所) 片山陽子 (香川県立保健医療大学)	14:10-15:10 【口演発表：Ⅳ群】 地域におけるACP 座長：浅見美千江 (金城大学)	14:10-15:10 【口演発表：Ⅲ群】 ACPにおける教育・実践能力 座長：谷垣静子 (岡山大学)	
15:00				
16:00	16:00-16:15 閉会挨拶 第3回学術集会長挨拶			

# プログラム

---

9月15日（土）第1日目

A会場（一橋講堂）

<b>開会の挨拶</b>	9 : 30～ 9 : 35
<b>委員会企画</b> EOLを支える専門職委員会セミナー 1) ALSの緩和ケア ～どのように最期を迎えるか～ 講師：荻野美恵子（国際医療福祉大学） 2) エンドオブライフに必要な看護とケア 講師：内田陽子（群馬大学大学院） 座長：大木正隆（東京工科大学） 梶井文子（東京慈恵会医科大学）	9 : 35～11 : 35
<b>学術集会長講演</b> 自分の生き方を語り伝え分かち合うケアとしての意思表示支援 演者：長江弘子（東京女子医科大学） 座長：西川満則（国立長寿医療研究センター）	12 : 15～13 : 05
<b>特別講演 1</b> 死を前にした人へのナラティブ・アプローチ 講師：宮坂道夫（新潟大学大学院） 座長：足立智孝（亀田医療大学）	13 : 15～13 : 55
<b>特別講演 2</b> 地域におけるACPの実践 講師：西川満則（国立長寿医療研究センター） 座長：鶴若麻理（聖路加国際大学）	14 : 05～14 : 45
<b>シンポジウム 1</b> 生活の場から発信するACP シンポジスト：樋口範雄（武蔵野大学） 関谷 昇（千葉大学） 田村恵子（京都大学大学院） 座長：平原佐斗司（梶原診療所在宅総合ケアセンター） 坂井 志麻（東京女子医科大学）	14 : 55～16 : 45
<b>音楽と映像のシンフォニー</b> 演奏：高橋在也、渡邊賢治、君塚怜	16 : 55～17 : 25

## B 会場（中会議場 3・4）

### 委員会企画

9 : 35～10 : 55

意思表示プロセス委員会セミナー

自分に立ち戻り、自分の人生で何が大切かを考えられる場所

～病院でも在宅でもないマギーズ東京からの視点～

講師：岩城典子（認定NPO法人 マギーズ東京）

海津未希子（慶應義塾大学大学院博士課程）

### ランチョンセミナー①

11 : 10～12 : 10

L I F E を考えた心不全医療

～患者の声を聞いてみる～

主催：大塚製薬株式会社

講師：弓野大（医療法人社団ゆみの）

座長：彦聖美（金城大学）

### 口演発表：I 群

13 : 15～14 : 15

高齢者・認知症ケアにおける ACP

座長：薬袋淳子（岐阜医療科学大学）

### 口演発表：II 群

14 : 25～15 : 25

EOL ケアにおける実態・認識

座長：酒井昌子（聖隷クリストファー大学）

### 懇親会

17 : 40～19 : 00

## C・D 会場（中会議場 1・2）

### 示説発表

10 : 00～11 : 00

示説 I 群：看取り・緩和ケア

座長：乗越千枝（日本赤十字九州国際看護大学）

示説 II 群：実践・家族ケア

座長：福田由紀子（人間環境大学）

示説 III 群：多職種連携

座長：山本純子（人間環境大学）

**示説発表**

15 : 00~16 : 00

示説IV群：地域・高齢者ケア

座長：梶井文子（東京慈恵会医科大学）

示説V群：地域・在宅ケア

座長：彦 聖美（金城大学）

示説VI群：地域・緩和ケア

座長：秋山正子（武庫川女子大学）



## プログラム（一般演題）

9月15日（土）第1日目 B会場（中会議場3・4）

### 【一般演題／口演発表】

口演 I 群：高齢者・認知症ケアにおける ACP 13：15～14：15

---

座長：葉袋淳子（岐阜医療科学大学）

A1-01 施設 EOLC 時期別にみた利用者・家族の意思決定支援実施状況の特徴（その1）

－施設全体からみた分析－

福島 千尋（自治医科大学附属病院）

内田 陽子（群馬大学大学院保健学研究科）

小山 晶子（群馬大学大学院保健学研究科）

A1-02 施設 EOLC 時期別にみた利用者・家族の意思決定支援実施状況の特徴（その2）

－特養と老健の比較分析－

内田 陽子（群馬大学大学院保健学研究科）

小山 晶子（群馬大学大学院保健学研究科）

福島 千尋（自治医科大学附属病院）

A1-03 助産師として活躍した100歳高齢者のACPを実現させるケア

小池 彩乃（公立富岡総合病院）

戸谷 幸佳（群馬県立県民健康科学大学）

内田 陽子（群馬大学大学院保健学研究科）

A1-04 認知症を有する利用者の意思表示支援

－「もしバナの記録」を用いた医療面接の1例－

川名 延江（有限会社フローラ・NPO 法人フローラファミリー）

A1-05 認知症高齢者への意思決定支援に対する態度尺度の信頼性・妥当性の検証

濱崎 彩子（訪問看護ステーション Q ちゃん（香川県立保健医療大学大学院））

片山 陽子（香川県立保健医療大学）

座長：酒井昌子（聖隷クリストファー大学）

A2-01 本人の希望に添った看取りの実践に至るまでの有料老人ホーム職員間の葛藤  
—1 事例の検討—

間瀬 太佳予（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
天野 弘子（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
山下 ひろみ（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
青山 千恵（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
松原 良子（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
畠山 小百合（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
大河 智織（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
小原 由香（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
笠松 茜（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）  
長谷川奈々子（株式会社オリジン フラワーサーチ大府）

A2-02 家族と絶縁状態にあり、息子から死を望まれながら、代理決定者を持たず、自分の意思を貫く独居男性の支援

大城 京子（(有)レモン介護サービス）  
西川 満則（国立長寿医療研究センター）

A2-03 血液透析患者における「事前指示書」に関する実態と影響因子の明確化  
前田 将文（福井大学学術研究院医学系部門）

A2-04 HCU における EOL ケアの認識調査

小島 朗（大原総合病院 HCU）  
齋藤 弥生（大原総合病院 HCU）  
岡崎 恵美（大原総合病院 HCU）  
佐藤 睦美（大原総合病院 HCU）  
石井 裕也（大原総合病院 HCU）

A2-05 がん治療期における精神的苦悩に関する文献検討  
—がん治療期のこころのケアにむけて—

二村 美津子（平成医療短期大学）  
岡田 豊（名古屋医療秘書福祉専門学校）  
遠山 マリナ（沼口訪問看護ステーション）

A2-06 終末期がん療養者が生活の中に楽しみを見出す訪問看護師のケア実践  
吉田 みゆき（医療法人 仁友会 訪問看護ステーション北彩都）  
照井 レナ（旭川医科大学医学部看護学科）

9月15日(土) 第1日目 C・D会場(中会議場1・2)

【一般演題/示説I～III群発表】10:00～11:00

## 示説I群: 看取り・緩和ケア

---

座長: 乗越千枝(日本赤十字九州国際看護大学)

B1-01 End-of-Life CareにおけるQOL・QODDを高める看護実践能力尺度の開発とその検証

對中 百合(畿央大学)  
小笠原知枝(人間環境大学 大学院)  
新井 祐恵(甲南女子大学)  
加藤亜妃子(人間環境大学)  
林 容子(人間環境大学)  
朝倉 由紀(人間環境大学)

B1-02 ICU終末期患者とその家族のQuality of Dying & Deathを支援する

看護師のEnd-of-Life Careの実態  
新井 祐恵(甲南女子大学看護リハビリテーション学部)  
小笠原知枝(人間環境大学大学院看護学研究科)  
對中 百合(畿央大学健康科学部)  
加藤亜妃子(人間環境大学看護学部)  
林 容子(人間環境大学看護学部)  
朝倉 由紀(人間環境大学看護学部)

B1-03 地域における看取りに向けたケアマネジメントの困難感(その1)

ーがん末期の利用者のケースの特徴ー  
島田 千穂(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所)  
伊東 美緒(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所)

B1-04 地域における看取りに向けたケアマネジメントの困難感(その2)

ー認知症の利用者のケースの特徴ー  
伊東 美緒(東京都健康長寿医療センター研究所)  
島田 千穂(東京都健康長寿医療センター研究所)

B1-05 有料老人ホームにおけるアドバンス・ケア・プランニングに関する意識調査

根岸 恵(聖隷横浜病院)  
近藤千賀子(奈良ニッセイエデンの園)  
北野 彰子(横浜エデンの園)  
石山 春美(油壺エデンの園)

B1-06 高齢者の最期の在り様に関する介護支援専門員の思い

松本 啓子(川崎医療福祉大学大学院)  
渡邊 朱美(川崎医療福祉大学大学院)  
土井智菜実(川崎医療福祉大学大学院)  
亀高 泰世(元川崎医療福祉大学)

常国 良美 (関西福祉大学)  
稲山 明美 (川崎医療福祉大学大学院)  
森山 美香 (川崎医療福祉大学大学院・島根大学)  
伊東美佐江 (山口大学)  
名越 恵美 (岡山県立大学)  
桐野 匡史 (岡山県立大学)

## 示説Ⅱ群：実践・家族ケア

---

座長：福田由紀子 (人間環境大学)

B2-01 リンパ浮腫外来で看護師が行う患者の日常生活を支えるための「相談支援」の概念分析  
千葉 恵子 (東京女子医科大学大学院博士後期課程・亀田総合病院看護部)  
長江 弘子 (東京女子医科大学看護学研究科)

B2-02 認知症高齢者家族の意思決定支援  
一口から食べられない時期から看取りまでのプロセス—  
中内 陽子 (亀田訪問看護ステーション勝浦)

B2-03 看取りにいたる介護を支えたもの  
浅見美千江 (金城大学)  
彦 聖美 (金城大学)  
浅見 洋 (石川県立看護大学)

B2-04 ALS の人々の Loss of control への支援  
—経営権限を有する事業者でもある訪問看護師 A 氏の実践—  
渡邊 賢治 (自治医科大学看護学部)  
大原 千園 (関西医科大学看護学部)  
田所 良之 (東京医科大学医学部)

B2-05 地方都市で在宅療養する ALS 家族介護者における日常生活の問題  
村岡 宏子 (順天堂大学・順天堂大学大学院)  
長瀬 雅子 (順天堂大学)  
坂本 亜弓 (順天堂大学)  
瀬尾 昌枝 (順天堂大学)  
河西 恵美 (順天堂大学)

B2-06 ALS 患者と家族へのエンド・オブ・ライフケアの 1 例  
藤井 真樹 (学校法人聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院)

## 示説Ⅲ群：多職種連携

---

座長：山本純子（人間環境大学）

**B3-01** 体験型研修会による ACP 理解の効果

－地域における ACP の普及を目指して－

山口 三恵（半田市立半田病院 がん診療支援センター）

**B3-02** 医療専門職による意思表示支援の実践状況に関する実態調査

－A 市における質問紙調査より－

原沢のぞみ（東京女子医科大学）

長江 弘子（東京女子医科大学）

坂井 志麻（東京女子医科大学）

渡邊 賢治（自治医科大学）

守屋 治代（東京女子医科大学）

池田 真理（東京女子医科大学）

小池 愛弓（元東京女子医科大学）

**B3-03** 特別養護老人ホームの終末期ケアに関わる多職種が連携・協働するためのチームの行動

田中 克恵（金城大学）

舞谷 邦代（金城大学）

山根 淳子（金城大学）

新口 春美（金城大学）

**B3-04** 緩和ケア病棟における安全な注射実施に向けた取り組み

－医師・医師事務補助者との連携－

大橋 純子（名古屋徳洲会総合病院）

伊藤 裕子（名古屋徳洲会総合病院）

**B3-05** エンドオブライフの一つの形

－認知症の徘徊による行方不明死亡者の実態－

菊地 和則（東京都健康長寿医療センター研究所）

伊集院睦雄（県立広島大学・東京都健康長寿医療センター研究所）

栗田 主一（東京都健康長寿医療センター研究所）

鈴木 隆雄（桜美林大学）

**B3-06** 保健医療福祉データからみる看取りの地域間格差

杉本 浩章（福山平成大学）

## 【一般演題／示説Ⅳ～Ⅵ群発表】 15：00～16：00

### 示説Ⅳ群：地域・高齢者ケア

---

座長：梶井文子（東京慈恵会医科大学）

- B4-01 地域におけるエンドオブライフケアの展開 第1報  
ー地域包括支援センタースタッフが抱える課題ー  
齋藤 尚子（東京医療保健大学）  
岡本美代子（順天堂大学）  
島田 広美（順天堂大学）
- B4-02 地域におけるエンドオブライフケアの展開 第2報  
ー地域包括支援センタースタッフが抱える課題解決の方策ー  
岡本美代子（順天堂大学医療看護学部）  
島田 広美（順天堂大学医療看護学部）  
齋藤 尚子（東京医療保健大学千葉看護学部）
- B4-03 包括的 BPSD ケアシステムの開発  
ー病院における認知症ケアのアウトカム評価票適応の検討ー  
内田 陽子（群馬大学大学院保健学研究科）  
小池 彩乃（公立富岡総合病院）  
岩崎 彩華（自治医科大学附属病院）  
清水みどり（公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院）  
河端 裕美（公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院）  
小山 晶子（群馬大学大学院保健学研究科）  
高橋 陽子（公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院）
- B4-04 施設 EOLC 時期別にみた利用者・家族の意思決定支援実施状況の特徴（その3）  
ー介護保険施設が必要だと思う EOLC の意思決定支援ー  
町田 留美（群馬大学大学院・院生）  
小山 晶子（群馬大学大学院）  
福島 千尋（自治医科大学附属病院）  
内田 陽子（群馬大学大学院）
- B4-05 小規模通所介護における日常生活動作訓練により高齢者の意思と役割を引き出す看護とその効果  
川添 恵理子（北海道医療大学）
- B4-06 認知症高齢者のグループホーム（G.H）における ACP への家族の影響  
守屋 直和（（医）光緑会 グループホーム ラビットホーム）  
福田 亮子（（医）光緑会 やわたクリニック）

## 示説V群：地域・在宅ケア

---

座長：彦聖美（金城大学）

B5-01 救急・集中治療の場における高齢患者への「生を支えるケア」に関する概念分析

山崎 千草（東京女子医科大学大学院博士後期課程）

長江 弘子（東京女子医科大学）

B5-02 在宅ケア開始期における訪問看護サービス新規契約者の初回の緊急対応の特徴

－発生時期と身体症状に焦点をあてて－

福田由紀子（人間環境大学）

島内 節（人間環境大学）

市川 誠一（人間環境大学）

又吉 忍（椙山女学園大学）

竹内 貴子（日本赤十字豊田看護大学）

神谷 智子（名古屋学芸大学）

杉浦美佐子（椙山女学園大学）

B5-03 訪問看護師の予後予測と予測に基づく意思表示支援の実態

片山 陽子（香川県立保健医療大学）

酒井 昌子（聖隷クリストファー大学）

長江 弘子（東京女子医科大学）

B5-04 在宅ケア開始期がん患者と受け持ち訪問看護師による患者の状態把握の比較

武田 智美（椙山女学園大学）

福田由紀子（人間環境大学）

榎田 恵子（人間環境大学）

島内 節（人間環境大学）

B5-05 在宅高齢者の希望する最期の療養場所と在宅医療・介護サービスに関する経験等の比較

－希望する最期の療養場所が明確、不明確の比較－

杉浦 愛美（刈谷豊田総合病院・人間環境大学大学院修了生）

福田由紀子（人間環境大学）

島内 節（人間環境大学）

杉浦美佐子（椙山女学園大学）

神谷 智子（名古屋学芸大学）

B5-06 在宅高齢者の最期を過ごす療養場所の希望と情報提供

－希望する最期の療養場所の自宅・自宅以外の比較－

杉浦 愛美（人間環境大学大学院修了生）

福田由紀子（人間環境大学）

島内 節（人間環境大学）

杉浦美佐子（椙山女学園大学）

神谷 智子（名古屋学芸大学）

## 示説VI群：地域・緩和ケア

---

座長：秋山正子（武庫川女子大学）

- B6-01 がんを合併した統合失調症患者の現状と課題  
－原子力災害地域の第1報－  
荒井 春生（修文大学看護学部）
- B6-02 発達障害の特性が疑われた成人食道がん患者への緩和ケアを振り返る  
伊藤 真理（岡山大学病院 看護部）  
市川 あい（岡山大学病院 看護部）
- B6-03 在宅医療を支える訪問看護師が捉える遺族ケアに関する現状  
渡邊 朱美（川崎医療福祉大学大学院）  
松本 啓子（川崎医療福祉大学）
- B6-04 在宅療養高齢者を看取った家族の介護と看取りに対する感情と精神的健康との関連  
中里 和弘（東京都健康長寿医療センター研究所）  
島田 千穂（東京都健康長寿医療センター研究所）  
涌井 智子（東京都健康長寿医療センター研究所）  
児玉 寛子（青森県立保健大学）
- B6-05 終末期にある高齢者の医療選択において本人の意思表示支援に難渋した1事例  
－人工呼吸器装着を強く希望する家族とのかかわりを中心に－  
鳥海 幸恵（川崎市立川崎病院）
- B6-06 退院支援に地域ボランティアの力をかりた事例  
－「おたがいさまシート」でつくるささえあいたすけあいのまちづくり－  
長江 浩幸（総合病院 南生協病院）



9月16日(日) 第2日目

A会場(一橋講堂)

**特別講演3**

9:35~10:15

私らしく生きるための心がまえと覚悟  
—ライフ(命、暮らし、人生)を支える多職種連携—  
講師:志藤洋子(日本在宅ケアアライアンス)  
座長:浅見洋(石川県立看護大学)

**教育講演1**

10:25~11:05

心不全における意思表示支援  
—患者のニーズに沿ったACP—  
講師:高田弥寿子(国立循環器病研究センター)  
座長:伊藤真理(岡山大学病院)

**教育講演2**

11:15~11:55

慢性的な疾患における意思表示支援をどうすすめるか  
講師:荻野美恵子(国際医療福祉大学)  
座長:村岡宏子(順天堂大学)

**DVD上映**

12:05~13:20

**総会**

13:25~13:55

**シンポジウム2**

14:00~16:00

元気なときからかかわるACPの実践  
シンポジスト:大川薫(亀田総合病院)  
野々木宏(静岡県立総合病院)  
手嶋無限(日本在宅薬学会 副理事長)  
清水直美(千葉市あんしんケアセンター磯辺)  
小野克美(岡山市地域包括支援センター)  
座長:島田千穂(東京都健康長寿医療センター研究所)  
片山陽子(香川県立保健医療大学)

**閉会挨拶**

16:00~16:15

第3回学術集会長挨拶

## B 会場（中会議場 3・4）

### 委員会企画

10 : 30～12 : 00

市民と専門職が協働するための実践・教育・研究委員会  
市民公開講座  
エンドオブライフと看取りについての対話  
～市民と医療職のまなざしが交わる～  
プロデュース：孫大輔（東京大学大学院）  
高橋在也（千葉大学大学院）

### ランチョンセミナー②

12 : 20～13 : 20

緩和ケアとしての BPSD へのアプローチの実際  
～基礎疾患に立ち返って考える～  
主催：エーザイ株式会社  
講師：平原佐斗司（梶原診療所在宅総合ケアセンター）  
座長：内田陽子（群馬大学大学院）

### 口演発表：Ⅳ群

14 : 10～15 : 10

地域における ACP  
座長：浅見美千江（金城大学）

## C 会場（中会議場 2）

### 交流集会Ⅱ

9 : 30～10 : 40

「もしもの時」にどう対応するか  
～救急車を呼ぶ側・送る側・受ける側のジレンマ～  
山崎千草（東京女子医科大学大学院博士課程）

### 交流集会Ⅳ

10 : 50～11 : 50

看護系大学におけるエンドオブライフケア教育の検討  
長坂育代（千葉大学大学院）

### ランチョンセミナー③

12 : 20～13 : 20

重度認知症の方への口腔ケアと食の支援  
～快適で美味しく楽しく安全に～  
主催：イーエヌ大塚製薬株式会社  
講師：枝広あや子（東京都健康長寿医療センター研究所）  
座長：島田千穂（東京都健康長寿医療センター研究所）

### 口演発表：Ⅲ群

14 : 10～15 : 10

ACP における教育・実践能力  
座長：谷垣静子（岡山大学）

## D 会場（中会議場 1）

### 交流集会 I

9 : 30～10 : 40

日本語版オマハシステムの地域看護過程を学ぶ基礎教育への活用  
～オマハシステム日本版の開発からの提案～  
酒井昌子（聖隷クリストファー大学）

### 交流集会Ⅲ

10 : 50～11 : 50

「もしバナゲーム TM」体験コーナー  
～「レクリエーションルール」で楽しく深いひとときを！～  
大川薫（亀田総合病院）

### ランチョンセミナー③

12 : 20～13 : 20

重度認知症の方への口腔ケアと食の支援  
～快適で美味しく楽しく安全に～  
主催：イーエヌ大塚製薬株式会社  
講師：枝広あや子（東京都健康長寿医療センター研究所）  
座長：島田千穂（東京都健康長寿医療センター研究所）

### 口演発表：Ⅲ群

14 : 10～15 : 10

ACPにおける教育・実践能力  
座長：谷垣静子（岡山大学）

# プログラム（一般演題）

9月16日（日）第2日目 C・D会場（中会議場1・2）

## 【一般演題／口演発表】

口演Ⅲ群：ACPにおける教育・実践能力 14：10～15：10

---

座長：谷垣 静子（岡山大学）

- A3-01 生の支援における対話の意味  
—成人学習理論における対話・学習・社会的文脈を焦点として—  
高橋 在也（千葉大学）
- A3-02 自己の価値や生き方を表明するための準備能力尺度の開発  
坂井 志麻（東京女子医科大学）  
長江 弘子（東京女子医科大学）  
原沢のぞみ（東京女子医科大学）  
渡邊 賢治（自治医科大学）  
池田 真理（東京女子医科大学）  
片山 陽子（香川県立保健医療大学）  
伊藤 真理（岡山大学病院）  
竹之内 沙弥香（京都大学医学部附属病院）
- A3-03 認知症高齢者のBPSD軽減に向けてスリープスキャンを用いた睡眠リズムの評価  
小池 彩乃（公立富岡総合病院）  
戸谷 幸佳（群馬県立県民健康科学大学）  
内田 陽子（群馬大学大学院保健学研究科）
- A3-04 看取りケア未経験者に対する看取りケア教育プログラム実践の可能性  
原沢 優子（名古屋市立大学）  
島田 千穂（東京都健康長寿医療センター研究所）  
伊東 美緒（東京都健康長寿医療センター研究所）
- A3-05 看護師の慢性呼吸器疾患患者へのアドバンス・ケア・プランニング実施に関する影響  
因子の明確化  
牧野富美枝（独立行政法人地域医療機能推進機構 福井勝山総合病院）  
長谷川智子（福井大学学術研究院医学系部門）  
上原 佳子（福井大学学術研究院医学系部門）  
北野華奈恵（福井大学学術研究院医学系部門）  
礪波 利圭（福井大学学術研究院医学系部門）  
出村 佳美（福井大学学術研究院医学系部門）  
橋本 容子（福井大学学術研究院医学系部門）

9月16日（日）第2日目 B会場（中会議場3・4）

【一般演題／口演発表】

口演Ⅳ群：地域における ACP

14：10～15：10

---

座長：浅見美千江（金城大学）

A4-01 介護支援専門員の ACP ファシリテートと段階的意思決定支援により本人の在宅看取りの願いが叶えられた事例

藤野 裕行（ケアプランセンター助太刀）

西川 満則（国立長寿医療研究センター）

A4-02 介護職のためのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）教育研修の実践

大城 京子（(有)レモン介護サービス）

西川 満則（国立長寿医療研究センター）

A4-03 医療過疎地域における在宅医療・介護連携の実態と課題

堀 友紀子（野田村役場）

A4-04 訪問看護師の夜間・休日オンコール実践評価ツールの開発

大木 正隆（東京工科大学）

森 陽子（東京工科大学）